
佐井田さんと香谷くんの一週間

にー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

佐井田さんと香谷くんの一週間

【Nコード】

N6634M

【作者名】

にー

【あらすじ】

佐井田さんと香谷くんのおかしな学園、半共同生活を描きます。が、現在ほぼ佐井田^{さいだめん}杏の妄想、暴走で話が展開しています。全5話完結予定でしたが、まだまだ続いています、、、。「金曜日」で完結予定です（焦）。

月曜日

「ええ?!」

小雨の降る月曜の出来事だった。

「マジごめん、佐井田さん。、、、今日、帰れる?」

「う、うん、大丈夫よ、バスで帰れるから、。」

でも、もう絶対勝手に使わないでよね!!!!」

しゅぼんと肩を落としている彼を目の前にそんなに強くは言えない。香谷くんはたまたまあった私の自転車を昼休みに拝借して、しかも電柱にぶつこんで、前輪をまるごと壊してしまっただらしい。ありえない。

というか、

困った。

明日の朝はバスでこなくちゃならない。

バスがあ、、、。

帰るときは時間を合わせればいいものの、田舎の私のうちはバスは一時間に一本しかない。

、、、明日は4時起きだわ、、、。

今度は私が弱っているのに彼が気づいたのだろうか。じっと見られている気がして、私は顔を上げた。

「佐井田さん、」

「ん？」

「うちに泊まる？」

眼が点になった。

はい？

「自転車直るまで。佐井田さんち遠いんですよ。うち、俺以外誰もいないし。」

切れ長の二重の眼が私をのぞきこむ。

いやいや、

そーゆう問題じゃあないでしょ。

私、

香谷君のみようじしか知らなかったし。

今日初めて、クラスが7組だと知ったし。

しかもあたし

一応

おんななんだけど。

「大丈夫だよ。」

ひきつるようにして見上げたわたしに香谷君は、

「俺んちの別宅の、祖母んとこ、使いなよ。」と続けた。

、、、ちよつと、ちよつとだけど、考えを飛ばしてしまった自分が、
はずい。

そーいうことは先に言ってよね。

でもだからって、、、、。

「、だからって、、！」

私を置いて、香谷くんはすたすたと先を歩いていく。

おい！

「ちよつと、！香谷君っ！！」

振り返って、にっこりわらって、

「こっちだよ」

っっておおーいっ！！！！

ついてしまった。

ついてきてしまった。

正確に言つと、彼の足が速すぎて、追いつけなかった。

なんとなく、他の子に気づかれたくなくて、

「ちょっと、「まってよ!」と小声で叫びながら、追っていたのだが、、、、、。

追いつけない。

負けじとだんだんと歩く速度を上げたが、

速い、、、!

最後は全力疾走だった。

まあ、50mを9秒台しか出せない私が、スポーツ万能と思われそうなひよろつと足の長い彼に追いつけるわけがない。

この人だって、帰宅生のくせに!

、、間違いないのは、

私は絶対香谷君にからかわれている。

まちがいなく、おもしろがられている。

今日の、

どの時点からか、は分からないが、確実に彼は私をそう認識している。

、いや、すでに自転車を拝借した時点でうすうす気づいていたのか
もしれない。

ねえ、おもしろい？とすごいにらみを利かせて、聞いてやること
思ったのだが、

ぐうぐう~~~~

、鳴った。

わたしのおなか。

「まずはごはん食べよっか。」
彼はにこやかに私に振り返る。

「顔真っ赤だよ。」
彼が家の中へするりと入っていく。

！
いまぜったいわらってた！
わたしは自分のあまりの不具合に、親指と人差し指で、わき腹をぐ
いっつつねった。

あたしはひどくいらついた。
そしてリビングのソファの真ん中にどっかと身を据えていた。
彼から一番最初にここに案内されてから、一度も、一步も、動いて

いない。

彼が、キッチンではたばたやっているのも、

「今日はなににしようか」「トマトかな、」などと言っているのにも耳を貸さず、

ただただ押し黙っていた。

はたかれ見れば、えらく無礼な客人にみえるだろう。

それでも、わたしは座りつづけた。

彼が私の自転車を壊したからよ！だからここ座ってるの！と。

しかし、

ついてきたのはあなたなのに？

おなががすいているのはあなたなのに？

目の前にあるバーニーちゃんがしゃべったような気がして、私は彼女の顔をこぶしでなぐった。

そんな押し問答を繰り返すうちに、

「はい、できたよー」

、、、、、。

香谷君の声が聞こえる。

「できたよ」

ん？

「おはよう、佐井田さん」彼の綺麗な顔が目の前に、
ある。

がばあっと身を起こす。

彼と頭をぶつけなかったのが奇跡のようだ。

、、、、、

まさか、

まさかまさかまさか？！

「ごめん」

さすがの私も体裁が悪くて、身体から素直に言葉が出た。

「、寝てた、」

同時に身体から火を噴きそうだ。

「疲れてるんだね。ご飯食べてからゆっくりしなよ。」

香谷くんにつながされるまま、テーブルに着く。もはや何も言えない。

「!」

私は目を見開いた。

ごはんにおくらの味噌汁に、トマトと鶏肉の煮込み、あとタコとキウリの酢の物と、おつけもの。

すごく一般的な家庭料理だ。

こんなの作れるなんて。

あたしよりすごい。

「どうぞ、召し上がれ」

「、、いただきます。」

おいしい。

お味噌汁はダシがきいているし、鶏肉はとても柔らかい。キウリは甘さが絶妙だし、漬け物だってこのままパクパクいけてしまう。

ひとつおもり食したところで、彼が私をじっと見ているのに気がついた。

いけない。

寝ぼけて食欲に任せてもくもくと食べてしまった。

「おいしい、」

まだ口をもごもごさせながら、私はつぶやいた。

「気にいった？それ粕漬けっていうんだ。」

ああー、そうじゃないよ、香谷くん。

慌てて、首を振る。

「そうじゃなくって、」

クエスチョンになっている彼に続ける。

こついう時だけは少年の顔をするんだなあ。

「全部、

全部おいしい。」

彼の白い頬に朱が差す。「香谷くんって料理上手いんだね。」

思わず、私の口元も上がる。

「よかった。」

香谷くんも笑う。

なんか、変なの。

なのに、

思わずふたりで笑いあった。

「ねえ、ほんとにいいの?」「いいって。」「のやり門答を繰り返すうちに、だんだんと日も落ち、夜になる。

彼の両親も祖母も旅行中。

あたしは元々祖母と二人暮らしな上、今は祖母は一週間親戚んちに泊まっているから誰もいない。
なんたる偶然。

食事と後片付けも終わったので、香谷君に案内され、おばあちゃん宅のほうの通路へ向かう。

あ!

しまった。

制服はいいけど、他は何にもない。歯ブラシもないし、シャンプーもないし、リンスない。その他、もろもろ、のも。

明日の生物?の教科書もない。

しかも明日小テストだ。

やっぱり帰れば、。

今日何度考えただろう。

後ろのあたしの動揺に彼は気づいたようだった。

が、すぐぼんつと合点のポーズをして、自分の部屋の中へ入り、あちこちがさごそし始めた。

一瞬、いや、一時、ぽかんとしていた私にぽぽいっというんなものを投げ渡す。

使い捨ての歯ブラシやら、リンスやら、タオルやら、を。

これでい？と渡されたのは、彼の黒いＴシャツ2枚。

あとこれもいちお、といつてリセツシユ緑茶の香り。「んじゃおやすみ」といつて彼は自分ちのほうへ歩いていつてしまった。

火曜日午前

5時40分。

いつもどおりに起床したわね、、私。

と思いつつ、昨日は、いや正確には今日何時に寝たのだろう、、。
なんだかんだいって3時40分という時間を時計で見たのは覚えて
るから。。。

結局2時間しかまともに寝れてない。

はあああああ。

なにやってんだろ、あたし。

結局あの後こちらの別宅は自由に使っていていいと言われ、

お風呂に入って、ささっとソファで寝てしまおうとしたのだが、

ねれない。

自転車が気になるからだとか、
新築の家のにおいがするからだとか、
明日の生物が気になるからだとか、
ではない。

自分の今の状況を客観的に考えてみたらだとか、この黒いＴシャツ
がおつきいからだとか、
なんだか違うにおいがするからだとか、
結局寝返りを打ったび起きてリッセツシュで夜あらいたからだ、
とかじゃ
決してない。

、、、、。

あたしやっぱ、
ばかなんじゃないだろうか。

、、、、。

とりあえず、起きて学校へいかなきゃ。

、、、、 自転車どこに修理に出したんだろう。

とか考えながらＴシャツを脱いで着替える。

、、幸い、この季節だからブラは体育の着替えのために1着持っている。

とりあえず、早く香谷くんに聞いて、

はやくでなきゃ。

香谷君の棟のリビングに出る。

「あれ、、、？」メモ書きがある。

「先に行ってます。朝めしは冷蔵庫にあるので、食べて、鍵閉めて、出てきてください。」

ぶっ

香谷くんって、、、

おかあさんみたい。

ひとりでわらってしまった。

はて？

んいやまてよ、、、

ってことは、

これ（鍵）6組まで返しにいかなくてはいけない。

キンコーンカーンコーン。

「杏ー！食べよー！」
いけないっ。

「あぁごめんわたし、」

ええっと、、。。

「図書室行かなきゃ。」

案の定、変な顔をされる。

「あんた本嫌いじゃなかったけ。」

うっ。

あつ、

そうだ！

「あたし生物の教科書忘れちゃってさあ。」「なるほど。」

「んじゃあ、成美たちと食べてるー。」

「うん、じゃあまた後で。」

あたしは走る。6組へと。

「え、で、なんで図書室？」

友達の声を後ろ手にききながら。

着いた。6組。

幸い、クラスには中学校からの友達がいる。

「さなえ、！」

入り口から4席ほど離れたところで友達とパンをほうばっている早苗に声をかける。

「（もごもご）あつー杏！、どうしたん、昨日？」

「え？」

「昨日2組に行ったのに先帰ったでしょ。」

「忘れてた。」

「普通忘れんでしょ、一緒帰る友達くらい。」

「どした？なんかあったの？」

「あー、生物忘れた」

「杏にしては珍しいわね。」

「でもそれは今日のことですよ。」

、、やばあーっ！

確かに昨日は変だった。

変すぎて

他人についていちゃったし、

その人の家まであがりこんじゃったし、

ご飯もいただいたいちゃったし、

しかも泊まつちゃったし！

しかもしかもソファで寝ちゃった上に服も借りたし、（しかも朝こ

飯も食べてきちゃった）！

ぎゃーっ！

いやいやもとは言えばあいつが自転車をぶっ壊したせいだし！

「、、、、、。」

杏、大丈夫？？さつきから青ざめたり、にやにやしたり、怒ったり、

、変な顔の私の返答を待たずに早苗は続ける。

「とりあえず

教科書はないよ。」

きゃーっ！

「あつまた青ざめた。」早苗がにやりと笑う。

「わたしあるよ。」

早苗のクラスの友達と思しき人が言う。

「あつ、！良かったら貸して下さい〜！」

「うん、ちよっと待ってて。」

ほ。

とりあえず、教科書は確保できた。

で、なんでわざわざわたしこっちの棟まで来たんだっけ???????

ぎゃーーーーー(思い出した)!

ん?

あたしは見上げた。視線を感じて。

香谷くんだ!

あちらの入口に香谷くんがいた。

鍵、返さないと!!

て、

、んん?

てかあたし、

睨まれてない?

えーっ!

香谷君なんか怒ってる????

「杏、、、やつぱ杏、まだ青いよ。ほんっと大丈夫???」
今度こそ本気で心配そうな顔で早苗が聞く。

「うん、だいじょぶ、、、」
ううん、

だいじょぶじゃない。
、、

なんで、???

なんでかたにくんはおこってるの?!

「はい、これ。」

「あっありがと〜」

じゃあ、杏また後でくるのよ。、うん。木曜までないからすぐじゃなくて大丈夫だよ。、うん。そうだった? そうだよ(笑) じゃあまたね杏、バイバイ。杏ちゃん、バイバイ。、うん、バイバイ。

って

なんでーーーっ?!?!?!???

火曜日5時限目生物、6時限目体育(準備体操中)

「じゃあ、はじめぞー」

なんでなんで香谷君はおこってるのよ?!

りゆう

1、あたしが6組に来たから(これは間違いない!)

かんがえうるりゆう

やじるし

2、あたしが近づいて、「きのうは泊めてくれてありがとう(はーと)

」なんて馬鹿な発言をしたらモテメンとしては困るから、。(あた

しは、んなおんなじゃない!!!

てかそんなこと彼女が知ったら、、、まずすぎ!!!てか彼女

くらいいるよね?!)

3、以下同文、、、

高校生として困るから。(まずいつて!!!停学?退学?!!つて、

あたしはそんなおんなじゃないっ!!!、つて知り合つて間もないか

らわかんないか、)

2、メモ書きは実は家族宛てであたしが勝つてに朝ご飯食べて鍵ま

で取つちやつたから(でも今は家族旅行じゃなかったけ??弟か妹

はいるのかも?!?)

3、ああほんとはもっともつと前からで、

ほんとは家なんか上がらせたくなかった、

それが今日のどの時点かで気が180度変わったから(てかあたし

不法侵入になる!?!なるよね?!?)

4、単にあの顔が常。

(もしくは苛ついてて八つ当たりされただけ、

はた迷惑。

、、、、、、、、、、

だったらいいのにーっ！ーっ！

ああそれかこのA×Oのように以上のりゆづの掛けあわせかも、
いでんいでん、っど。

いやーっ！ーっ！ーっ！ーっ！

とりあえずこの鍵を本人に直接に会わず、かつ誰にも知られず返す
方法は、、、、、、。

「佐井田。」

「はいいい、せんせい！」
ばたんっ！
今、なんか、
声変だった、
きがする、
ような？！

ってノートみられてないよねー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！
？？？？

見てないよね、ね、かたやませんせい???

って先生のはなげがみえる。

「教科書忘れたのか?」

はい?いえ、ここにちゃんとありますよ、忘れてなんかいませんよ?

「それともお前の名前は田中佳代か?」

ひいやあああ—————!!!

田中さん、ちゃんと教科書の後ろにおなまえをかいております。

「、、、、すみません。」

「こんどは忘れるなよ。」

「はい、すみません。」

「で、この問題の答えだが、、」

ええい、まちがえてもかまわん!

聞いてなかった(と思われる)よりまし!

「えっ、、と、A×O?」

どつと笑いが起きる。

へ?

「さいだあ。」

「はい、?」

「遺伝は先週で終わったぞ。それに今は第4章・環境と動物の反応のP58〜をやってる。」

もう、いい、

片山先生、

はなげでてるのおしえてあげない。

6時限目・体育

考えた！

そう！

香谷君の靴箱に鍵を体育の帰りにいれちゃえばいい！

そしたら6時限 掃除 帰りのときに香谷君だけが気づく。

バレンタインのおんなのこみたい！いえいえええ〜い（泣）！

実はあの後も（懲りずに）考えた。

メモ帳はかわいいプーのイラストがあるが、そんなんで、一瞬香谷君を誤解させたくないし、

そのあと、「あ、なんだあの佐井田からか、。」「なんていわれた

くないし。

ノートの切れ端なんかだと砂にまみれて、ごみと思われて、ポイされても困るのし、しかもそれを1年生の掃除係が「あぁーっ！！！！！」なんて見つけても、困るし、てか大問題だし。

てなわけで黄色のふせんにした。

ふせんなんて、片山先生でもないから、持ってないけど、ついさっき片山先生がくれた。

ここから（58P）だぞって。

ふふ。

片山先生って、ここにいらたい。

あ、

あたしもか。

「ありがとうございます。お返しします。」

いちおお礼も書いておく。もしかしたら、そーとー嫌なやつ（香谷君のこと）かも知れんけど。

私はそこまで無礼じゃないのよ、いちお。

てか、これならべつに掃除係が発見しても大丈夫じゃん。お返ししますだけでもよかったかも。

でもこれじゃ怒ってるように見える？

(ありがとうの部分、指隠し) お返しします。 ! (怒 !)

どうせ香谷くんも怒ってんだし、これくらいでよかった？

、 、 、 もうボールペンで書いてるから消えないんだけど。

がやがや

「今日は、走るらしいよー！」

「まじでー?????」

がやがや

気づいた。

意外に体操服ってポケットがない。

なんでポケットぐらいにつけないのよー!

経費削減?

鍵はどこにかくしとけばいいの??????

今の時期じゃペットボトル持ってる人いないし、

みんなてぶらじゃん。

「杏、いじぶ。」

おおおおお、！！！！！！！！

かなちゃん、！

ナイス！

「うん、ちょっと待って。」

わたしもタオルをもっていきます！

で

もういっこ気づいた。

6組の靴箱つてとおっ！！

バレンタインのおんなのこのことを考えたら、こんな広おーく靴箱の場所をとったりしないし、こんなに全体を見渡せる程、低ーうい靴箱を設置したりしない。

設計間違ってる！！

あ！

でもだいじょうぶ！

今日は5組と合同の体育だから、6組の靴箱にちかづきやすーい！

いえーい！

つてあたし4組だし、

つて5組の人もたくさん近くにいるってこと???!?!?!

いえーい(泣)！

「杏、いくよー！」

「、はいー！」

とりあえず、自分の靴箱にタオルごといれとく。

「いっちにー、いっちにー、」

閃いた！

そうだ！

途中でトイレで抜け出して、いれちゃえばいい！

ナイス！

走ってるから頭に血がめぐってちゃんと機能してくれたんだ！

運動つてすばらしい！うん！

香谷かたにだから、出席番号は5番目くらい？

いえーい!!--

はあ、肩こったー！

きょうはちゃんと運動しよ！

「いっちにー、いっちにー、」
「、」
グランド2週半目。

じゃあ、あのラインのたぶん下段の3番目ぐらひにこたえなうと
なれうと、、、

ん???

きゃー……………っ!!……!!……!!

もし、

もし、

香谷くんが

鍵をかけてたら?

その、

靴箱に?

靴取られないように?

掛ける派：掛けない派ニアリーいこーる1…1。

つまり香谷君は1/2で掛けてるってこと。

の……………っ!!

火曜日6時限目体育、掃除時間

いえいえもしかしたら、鍵掛けない派かも！（そうだ！そうだ！）

もー

ちよう前向きになるっきゃない。

「今日は3ヶ月のまとめに50mのタイムをとります。」

はい！

佐井田さん走ります！

はしりましたー！

きいっ

っっ、

うー、

！、

！

「9、50。」

うへ。

もうすぐ10秒台突入。

、
、
、

って

今がチャンス、

じゃない！？！

「先生、私お手洗いに行つてきてもいいですか？」

よっしゃ完璧！

さらつと言えた！

ちゃんと言えた！

お手洗いつて言えた！（トイレじゃなくて）

「あつ！あたしも！」

ええええええええええええええええつ！！！！

かなちゃん！！！！！！

いや、

おっきいほうとかおもわれたくないし！（んなのおとめのはじー！）

もう、なんとかしてー！！！！

でも実は一つだけ収穫（！）

あのラインの人、ほとんど鍵掛けてなかった！

（ちらっと見たけど、2人くらい、まあその2人に入っていないことを願う、）

そういや男子って鍵掛けないよね。

バレンタインを想定して（笑）

キーンコーンカーンコーン。キーンコーンカーンコーン。

原点回帰。

そうよ。

みんながいなくなつてから、
サクツと入れちゃえばいい。
サクツと。

さあみんな、

はやく教室へ戻ろう！

先生がハードルを片付けてる！

「あつ！先生私持ちます！」

「あら、佐井田さん、大丈夫よ、一個くらい。」明らかに驚いて
いる。

そりゃそうか。

おとなしめの佐井田が荷物運びを買って出たんだから。
あたしもびっくり。

こんな大きな声でるのね。

でも、

私だつてたまには運ぶし、
て、

そんなことおっしやらず

はこばせてくださーいっ……！！

「、、、じゃあ、お願いしようかな。」
先生が真剣な目で私を見る。

先生、分かってるーう！

「はい！じゃあ、持っていきます！」

「杏、先いつちやうよー??」

かなちゃんたちが声をかける。

「ラジャ。」

よしよし。

いいかんじじゃない???

倉庫へ運び終わると、5組の女の子3人が靴箱にいるだけだった。

よしよし。この調子だと、私が靴箱につく頃には誰もいなくなる。
あとは

香谷君が（縦4×横15〃）60分の2に入っていないのを祈るだけ。

ぜんぜんよゆうよ、さいださん。

着いた。靴箱！

イエス！ジャスト！誰もいない！

「じゃ、先生、またきんようび、く、く。」

「佐井田さん。」

はい？

「あなた、何か悩みがあるんじゃない？」

「へ？」

へっ？！

「その、あなたが途中でトイレに行くなんて珍しいし、私に話しかけてくれるなんて、

その、

うれしいのよ。」

のおーーーーー！！！！！

「あなたの担任をした時とは、違って、

最近、というか今日はずいぶんと明るいから、去年はあなたのご家庭のこともあってそうなのかとか考えてたの、

あ、失礼、ごめんなさい。

ただ1年の時のあなたの唯一の悩みは

ぐるじいじい、

って、

誰かとおつたらどおするのっー！ー！ー！ー！？

こんなセンチティブなはなし、ほけんのせんせいなんだから

察してっっ！ー！ー！ー！

「ゴホッ、、なんで、、今は悩みはありません。」

「そう、」

ちよつと！

先生背景に「しょんぼり」って書いてありますよ！

って

生徒の悩みがなくて落ち込むせんせいって

どうよ？！？

「青春時代は悩みがつきものだものね。

また悩みがきたら相談してね。

恋のお話でもいいのよ（ハート）

じゃまた金曜日 「

掛かってなーいっ

ん。

いまさらだけど、

なんか緊張する。

カコツ。

うわお。

靴、

おっきいー！。

たしかに香谷くんってあたしより高いけど、
あたしだって168？あるし。

靴は香谷くんの方がだいぶおっきい。

、、、、、、。

カチャ。

、
、
、
、
。

かたん。

なんか、

あっけないな。

、
、

もどろ。

「ちょっとー！ー！ー！掃除してよ、田中あー！ー！」

「掃除はみんなでするもんじゃん！」

「なによーっ！数学の小テストの答案教えてやったのに！」

あーっ

危なかった。

危うく一年生の掃除当番とバッテリーングするところだった。
て、

一年生にはわかんないよね。

一年生たち、廊下ははしっちやいけないよ。

うむ。

「もうっ！ぜったい教えてやんないからっっ！！！」

あ。

もしかして。

ギブアンドテイク。

つまり香谷くんは私に自転車を返す。

私は家に泊めてもらっ。

ただそれだけ、

ただそれだけ

で

いたい。

りゆう、その、なんだっけ、？

いいや。

たぶんライトアンサー。

「佐井ー、ごめんね。」

うん、

やっぱりついてない。

「大丈夫って!」

「あたし、知ってたのに、売店行ってたから、」

「だ・い・じょ・う・ぶ・だつて。トイレで着替えれるし。」

トイレはたぶん着替えられない。

あのトイレ掃除の三年生、怖いもん。

じゃなかった、
にがて。

「佐井ー、ごめん!」

ああー、男子がこんなにいるんじゃないまさらクラスから追い出せないでしょうに。

「あたしがカーテン開けたの、ごめん。」

「いいって、いいって。」

そうよ、

着替えてる途中に、

カーテンおーぶん!なんてことにならないだけ
まして。

たぶん。

「とりあえず、これに制服入れときなよ！」

「わお、サンキュー、かなちゃん。」

さすがは、とも。

しかも！！

「かわいい！このバッグ。」

プーさんっ！！！！

「もらっていい？」

「だめ。」

ですよー。

さてと玄関掃除に参りますかね。

あっ。

プーさんのメモ書きがある。

「サンキュー！きょうはいん会があるので、さき帰ってて〜by
さなえ」

そついや、さっき早苗が6時限目の国語忘れたから教科書貸してっ
て来たな。

っ

て、自分（早苗）のほうがしょっちゅう教科書忘れてんじゃん。
しかも、あたしのメモパッド勝手に使ってるし。

し、か、も、

『2組佐井田杏。(極太)』

ちよつと！

H Bでちよこつと書いてただけなのに！

ふとペンで書き直してる〜(泣)！

しかも

消えない！

油性マジックで書いてる〜〜〜っ(泣)！！

「(ちつちやく鉛筆書き)もっと大胆になれ！BYさなえ」

あーっ！

もう、

あなたの友達はとつくにちよー大胆なんだよ！

あなたのクラスの男子の家に泊まってたんだよ！！

あーっ！

「自転車屋？」

ここはいちばん知ってそうな、高橋君に聞くのが得策でしょう！

「うん。うちの学校の近くの。知らない??？」

「何？修理代ないなら、僕たちで直してあげようか？」

ぎゃっ!!

ムリ!!

んなことになったら、（技術部の手に掛かったら）その日のうちには帰れない。

電動自転車には乗れるかもしれないけど。

あっそれもいいか。

って

むりむり!!

肝心の自転車がないんだもん。

もしがつつり壊れてた自転車を目の前にしたら、今度こそ話しちゃいそうだもん。

「いや!!大丈夫!お気遣いありがとう!ただ空気少なくなった時とかどうしようかなくて。」

「ああ、そういうこと。」

あつ興味それた??

でもなんだ、?

この国語のテストの後によくされる、「あつゝたぶんそれじゃ減点だな、」みたいな顔は。

そして大抵2点減点されてる。

むっきー!

「自転車屋なら裏門下りて右に行ったところに2軒並んでるよ。」

「2軒??」

「うん。ひとつはお婆さんが服装とかうるさいから気をつけたほうがいいよ。」

だいじょぶだも〜ん。

アイラインしかしてないし。

「高木さんでも一時間説教されてた。」

たかぎさん??

せいとかいちよーっ!っ!っ!っ!

まじで?!?!?

「じゃあ。」「ちよっど!」

どっちがお婆さんとこなのかくらい教えなさいよ！
それが、

行ったらわかるんでしょうね？！

「どっちがそのお婆さんとこなの？」

「学校に近い手前のほう。」

ホッ。

「でも目の前を通っただけでも見逃さないんだって。しかもお婆さんは年中ずつと座ってる。」

ぎゃーーーーーっ！！！！

それじゃほぶく前進しておばあさんの前通れってこと？！

「裏門出て左に曲がって学校をぐるっと一周して回り道するとい

いよ。」

なるほぶ。

そうだね。

「ところで佐井田さん。」

「なに？」

「なんで体操服なの？」

放課後

あっけらかん。

なんだ。

周り道したららくしよーじゃん。

あたしバカじゃないから、

興味本位で頭を出して覗くなんて
馬鹿なまね、
しないしね。

「こんにちはー。」

おっちゃんがいる。

「こんにちは。」

「私の自転車見に来たんですけど、」

「おじよーちゃん、うちで修理だしたかい？」

オジヨーちゃん？

「つまり、

イケメン！」

「そう！」

って、

ちがー！ー！ー！っ！ー！

ここに来てないの???

???

あまりにもぐちゃぐちゃで、

『はいひんかいしゅー』行きとか。

ひゃあーっ！

あたし自転車買い替えるほどお金ないよ？

「そっぴや、昨日隣に客が来てたな。」

となり、、

となりいっつ？！

「この！！松井優作っ！！て聞こえた。」

かたにくんだああああ。

あっーもう、

なんで

となり

行っちゃうの???

「あのばあさんがえらく騒ぎ誉めてたから、
よっぽどまじめな子なんだな。」

、、、、、、、、。

そうだ。

香谷くんはイケメンだし、ほどよくマッチョだが、

制服いじってないし、

別に髪セットしてる感じさえないし、

て、

眉くらい剃ってるくらい?!

あーっ

この世には油取り紙さえ不要な人間がいるのね。

って

つまり

あたしは隣に頭突っ込まないといけないわけ。

おのずから

あ、

みづから?

しかも

頭だけじゃなくて爪先からってっぺんまで。

しかも、!

「ちわーす、あっしのチャリありますか、
修理してくれますか?」って、

声まで。

のおおおー！！！！！！！！！！！！

とりあえず油取り紙、

じゃなかった、

ビオレクレンジングシート！

アイライン落として、

あ、

リップもだめ？！

もーっ

ファミレスのおっさん拭きなきやだめ？？

ぎゃあっ

ダメーッ！！！！

いずれにせよ、

眉は生えてこないやんっ！！！！！！！！

あ、

眉毛はおっけー？

いやいや、松井優作は特別やん。

もっー

やっぱ技術部に頼めば良かった！

無料の上に

電動サイクルやん！！

「こんちはー」

お？

おっ？！

「ばあさんの喜びがいつかおぼろげに
松井優作やな。」

いるー！ーっ！ー！！

ぎゃー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！

いる？！

いるっ？？！！

っ！？！

ほ、本物？！

って！

おちつけ、あたし。

無理!!!!!!!!!!!!!!

かたにくんに睨まれたら、
まじ、

「蛇に睨まれた」気分!!!!!!

（あつーなるほど!こーゆう時に言つのね、!）
しかもその上にコワいおばあさんに眉毛がないって（隣に立ってる
人には言わないのに!）（言われて、
化粧!どーのじゃなくて、顔がなってない）（って言われたら?
?????）

キャントアライブ。

「ほれ、行ってこいな。」
ドン。

どん?

ガターーーーーッン!!!!!!!!!!!!!!

「佐井田さん」

「パンツが見えそう」

「ぎゃっ」

なんですとー！ー！ー！っ？！？！？！？

「い、いま、み、っ？！？！？」

「うん、」

ガクッ！ー！ー！ー！っ

フツの顔で、

それー？？？？

「見えなかったよ」

、、、、、。

ああ、そこで句読点はあ用いるべきじゃないよ、香谷君、。

「膝擦りむいてる？？」

うん。

だからさっきからそーいつてるじゃん！ー！ー！

（こころのなかで！ー！）

、。

ハンカチ???

「それかそこでぬらして来ようか。」

ああーなるほど、そうすれば、

蒸らしタオルがわりになるねえ、。

って

ちがうわよ、佐井田杏!!

たぶん香谷君はそれを傷口に使えといっているのよ!

きゃあ!

これって女の子憧れのシチュエーションじゃない!?

すんげー!。

よかった!。

ビオレクレンジングシート探してるってばれなくて。
(しかもあたしハンカチ持ってないし。)

「ぎゃー……!!」

いったあああ………っい……!!

「ちょっと……」

香谷くんいきなり何すんの????!!……!!

「ちつきから」「ぎゃー!!」ってさけんでばかり。」

き………!!

にやにやしてわらうな……!

ひとのふにーをわらうな……!

っで、

改めて見ると、

いった………っい………!! (泣)

「と……」

！

でた、！

この顔！

ちがうんだつって！！！！

あたしは鍵を誰にもわからないようにこっそり返しにきただけなんだって。

別にスポーツ大会のサッカーの優勝戦でキャーッ先ぱーいつ！とか叫んでる一年の女の子とかとは違うの！

ちゃんとこっそり靴箱に入れたげたでしょ！！！！

「なんで昨日言わなかったの？」

「へ？」

なにお？

「教科書。

今日、生物あつたんだろ。」

「、、、、、、、、。へ？」

「昨日、なんか言いたげだったのに、言わなかったじゃん。俺、勘違いしてTシャツとか、、、、。

今日こっそりうちのクラスまで借りに来てて初めて気づいた。」

ニアリーイコール、ライトアンサー

かんがえうるりゆうその4よん！

『単にあの顔が常。』！！！！

よかったーーーー！！

刑務所にも退学にも停学にもならなくて。

あたしのぼつそーもたまにはいいほつに転ぶ。

てかたまじゃなくて、

これが、

初めてじゃない？

「なあ、聞いてる？」

「で、あと、あれ、」
「まてよ、」

「ってことは、、、、、！」

「、、くつばじだ、、、、、、わざわざっ？」

くっくっくっくっ

おい！！

あたしの今日の生物の時間をつぶして考えてやった方法なのに！！！！

「だって気づかれたらまずいでしょ！！！！！！」

第一一番の原因はあんたのその顔だっつーの！！

「気づかれずに返す方法ならあるじゃん。」

「たとえば？」

反論。

「俺が佐井田さんに鍵を返すなら、」

「これ、落ちてたよ。」って手渡すけど。」

むむ。

まだ反論できるぞ。

「でも、鍵だけじゃ誰のかわかんないじゃん。」ってなんでにやっ
いてんの！

「水性マジックで、「2組佐井田」って書いてく。」

さらっつと答える。

「んなの、あたしがばかみたいじゃん！て、誰ん家のか分かったら、鍵の意味がないじゃん！」

「でも、国語の教科書の裏にはマジックで書いてたじゃん、「2組佐井田杏」って、おつきく。」

香谷君がさらににやにやして笑う。

もっーーーーっ！！！

なんで今日はこんなについてないの??????

「ほれ、バンソーコー。」

でかつ！！！！！

それはたぶんバンソーコーとはいわないんじゃない、。。。

びたっつ！！！！！

シッ

しっみるびらびらびら。

あーなんで

あたしの

周りの人はこんならっぽーなひとばっかなんだろう。

あー！あたしがおーざっぱだからか！

「じゃあ、今日は帰ります。」

「ああ、また明日おいで、松井くん。」

まっじゃないよ、おばーちゃん、

って、

あ！

「ええと、自転車は、」

「まだ、直ってないんだって。また明日俺が来るよ。」

「そーなんだ、」

「じゃあ、また。」

はっ！

今、おもいつきり目が合っちゃった、

おばーちゃん。

番外編 火曜日 香谷家にて

マイグットネス!!!

ギブアンドテイクが続くなんて!!

あたし

今日も香谷家に泊まってる—————っ!!!!!!

べつに自転車がまだ直ってないからとかじゃないし、

(あたしの人生の方針としては、香谷さんと違って、オンリーギブの人間であるつもり!)

べつにバスの次の便の発車時間が19:15だったからとかじゃないし、

べつにおいしいそうな野菜たっぷりのご飯(鮭の中華風あんかけ!)
が食べたかったからとかじゃないし、

べつに香谷くんが後で数学の小テストの回答を教えてくれる(次回
は満点!万歳!)とかじゃない。

あーーーーーっなんで昨日洗わなかったんだろーーーーーっ！！！

いやいや！

今日まで泊まるつもりなんてなかったし！

あーーーーー、

どうして今日も泊まっちゃったのよーーーーーっ！！！

エックスキューズミー！

杏！

だいじょーぶ！！！

ノープロブレムよ、！！

あなたにはルメリがあるじゃない！！！！

ただいまの時刻は20:06。

スーパーショッピングセンター、ルメリなら夜9時まで開いてるじゃない！

ルメリの2階のあの角には売ってる！！

どーせ色気も胸もないあたしには、あそこで十分！
かなちゃんにはせめてその中にあるワコールで買えと怒られるけど。

お金もある！（¥30,383もある！）

ただ問題がひとつ。

香谷家本宅に侵入しないと、

外に出られな〜い！

しかもさっき、

「なんか必要なのがあれば、全部俺に言えよ。
って再度言われたばっかだし。」

あーん。

しかも、あたしがこの時間にルメリにいたら、
知ってる人からしたら、不審がられる！（そこも問題！）

でもさすがにいけないっしょ、

生物の教科書は頼めても、

あたしの上ト下トじゃ。

なんのなんcmとか。

ぎゃー………っ………!!

たすけて………!!

時刻20:21

もーっ

こっそり出るっきゃない！

だいじょーぶ、

服は大字高の制服を着ていても、
あなたにはプーさんのデカサババックがあるじゃない！！

（ああー気づいたときにはかなちゃんも教室を出たすぐの廊下にて、まあ走って声をかければ間に合う距離には居たけど、他の友達と話しているときに声掛けるのはちょっと気が引けたし、まあ一日ぐらい遅れてもいんじゃない？本人も気づいてないし、いひひっていう「天使」からの声がきこえたし、
と、

まあ、とりあえず返せなかったから、現在持つてる状態。）

あたしにゃ、

プーさんさえいれば、

だいじょーっつぶ！！！

時刻 20:23

香谷家本宅玄関ドア前にて

ラッキー

香谷くん、

居間には

いらっしやいません。

たぶん、お風呂です。

よかったーっ！っ！

それではプー、

いくわよ！！！！！

時刻 20:54

もーっ

やっぱりワコールで買えばよかった。

ルメリの店員2人で、はよ帰ってかんじでこっち見てんだもん。

まだへー店まで30分もあるでしょ！

って高校生もいちお客なんですけどっ！！

結局紫と白とを購入。

だってどっちもかわいかったんだもん！！

べつに明日も泊まるかもとか思ってないって！

絶対思っでないって！！！！

時刻 20:57

あれ？

あれれれれ？

ドアが開いてない。

まさか

まさか、、、

鍵、閉めちゃった？？

ちよつと!!!!

もしもし!

そだ!!

ほかに入るとこ!

ってないからわざわざ母屋の玄関から出てきたんじゃない。

「はい、どちら様ですか？」

香谷くんの怪訝な声が聞こえる。

この時間じゃ不審者だわ。

うう。

「……」

佐井田です。」

ガチャンッ。

ばたばたばたばた、……

せめてなんか言ってから切ってえ————。

ガチャッ。

「、

なんで、？」

う。

「ちよと買物に、、、。」「

、っ！

またあの顔っ！……！！

時刻 21:01

ラズベリーの香り全量バスタブ投入。

時刻 22:00

泡が消えな————っいつ。

時刻 27 : 48

本日最後に覚えてる数字。

水曜日　〜GOODモーニング〜

、
、
、
、
、
、
。

チチチチチ、。

ん、

朝ね、
、
、
。

きよつもきつとすてきないちにちになりそう、
、
、
、
、
、
、
、
、
、
。

て、

1・RASP、

きゃー—————っっ！—————！！

ラズベリーバスを買う、

これ、これ、これっ、

ロフトよね？（このパッケージ感からして）

、てっ、ちがうわよ、

さいだあんっ！—————！！

あなた

それ、

どーやってそこに（かったやつ）モドスつもり？？？？

っじかんがないっ！

つぎ!!!

2 .

全校集会は左側を見ない!!!!!!

コレできるわ!!!!!!

得意よ!

みぎひねり運動!

隣のクラスのイケメン隼くんをみとけばいいしっつ!!!!!!

GOODOODS!!!!

次っ!!!!

3 .

えっと、

そう、4時間目の聴覚室は

職員室側を通っていく!!!!!!

5 .

どうやってココから出るのか？

それは2Fから飛び降りて、、、、、

無理！！！！！！

しんじゃうー！！

ていつは、

後MAXで30分後には

家主とご対面っっっっっっっっっっっっっっっっっっっ

？？？？？？？？？？？？？？？？？？？？？？？

無理無理！！！！！！！！

しんじゃうっっっ！！！！！！！！！！！！！！！！

しかもかも！1 を考慮すると、

『香谷くん、、、』

あたし、

昨日ね、

思わずバブルバス全量使っちゃった、

えへ、

ごめんなさい。

、あと昨日は黙って出てってごめんなさい、

だってあなたも知ってのとおり、

わたし、

わたしの、

『

の、

ノオオオオッーーーーッッーーーー

んもん

つーーー(すうがく………っっ………!!!!)

ああっ!!!!!!

数学の小テスト!!

、、、、、。

さようなら、

わたしの

初満点!!!!!!

て、

それどころじゃあないでしょ!!!!さいだあん!

ぎゃーーーーーっ！

助けて！オバマ氏ーーーーっ！

（だめだめだめ！あたし英語できないっ！）

どうやっても

この状況説明できないっ！！！！）

てか100人の日本人に日本語で一から十話せても

「あなたが押しかけたんでしょ、香谷家に。」

って100人全員に言われるっ！！！！！！

しかもかも！！

バブルバスつかっちゃったし！！！！！！！！

（価格は¥1,260円。AMASSON・JPNにて確認済。）

もうその浴室に、現金置いて無かったことにしちゃおうかしら？
???

『あらやだ、

わたししたら、

買い忘れてたのね、

バブルバス。

ひーっつ(焦)

あと、2メートルで

香谷家のドアっ！

ひーっ

ヒーっ

ひーっ

みーっ

まだ起きてないのかしら。

、
、

そうね、

まだ、6:50だものね。

、
、
、

といつか。

良い

におーいっ

まるで

フギパンの工場の脇通路にいるよーな、

て、

んっ?????

そいつめるのは、

け、

けーき???

!

ケーキ、スクランブルエッグ、ポトフ、スコーン、ホットドッグ、
フルーツ盛り合わせ、コーンスープ、コンソメスープ、シチュー、
サラダ、バゲット、クリチー、、、

て、

えっ???!

香谷家って、

朝食バイキング??????

(バゲットもスクーンも手作り?!?!)

ゝゝゝゝゝゝ。

!

まさかまさかまさか、!

これ全部

作ったの???

こんだけあると、ゝゝ、

夜中じゅっ？？？？？？？？

(まああたしは夜中じゅっお風呂掃除したけどね、

千二百六十円かけて)

まあ、

わたしたちって、立派な家事分担夫婦

って、

えっっ

っっ
.....
.....
.....

もしかしてもしかして

あたし

香谷君を

ス、

ぎゃあああつ

-----つ

-----つ!.....!

!.....!

タイプじゃないしっ

あんなおとこっつっ!.....!ぶっちょぶっぢらだしい?.....ギブアムドテイ
クダしい??!パン 見たしい?!!?!!?!!!

ヒラっ。、

!!!

ん?!?!

なんか

おちた??

ぬおっ!!

つきゅっ!

九点っ!!!

すげっ!

あたし6点越え見たことないわ。

しかもこれ足し算間違ってるだけ???

まー

なんて贅沢な間違い!

て、

これ、

「香谷直也」、

すうがくの、

もんだい?????

、

!!!!!!

もしかしてもしかしてもしかして

香谷くん、

も

水曜日／香谷くんの朝活7分間／

もしかして

もしかしてもしかして、

「おはようございます」
「おはようございます。」
「おはようー…」

香谷くん

「おはようございます」
「おはようー、」
「。ー。はようー」

もしかして

「おはようございます」

香谷くんも、

きょう（全校集会だから）

挨拶運動でてんだっ たっーっ！！！！！！

「、、、、。」

てか、

あと、

うんじゅメールかそこから、

アイサツ

しないと

いけないわけ?!?!?

のおおっっっ!!!!

軽やかに蒸し!!

じゃなかった、

無視!!

できるーっっ?????

ムリムリ

むりっ!!!!

だって女子の美化委員長って、

(言葉) 発っしてるー……っ……っ……!

なむに引かれてますけど、……。

て、

あれ???

あれ???

……

あたし

カンペキ変（人）だわ。

「来週の土曜日空いてる？」

「う、うん、あいて、」

！！

まっ！！！！

まっまっまっまっまっ！！！！！！

「やっぱり空いてないっ！、かった、よ？」
「ご、ごめんね？」

これは、

これは、

もしや、

もしや、、！！

恒例の

高橋くんは早速1人思案し始めてしまった。

半年に一回こうやって（しかも決まって朝に）英論発表大会に誘ってくる高橋くん。

高橋くんは中学3年からの同級生。

彼は英語が話せる。

小学校4年生までアメリカですごしてたからで。

そんな彼が私をE・speakに誘ってくるのは、

あたしが中学の頃英語ができたからで。

と思っていただけで。

当たり前だ。

中学の英語なんて

たかがしれてる。

進学校かつ英専クラスがあるこの高校に入ってから

そんなささいな自負

こっぴどミジン。

最初の1カ月はこの不可解な感情にもがいた。

だけど、

5月には

そんな気持ちさっぱり消えた。

あきらめた。

そう。

あきらめた。

その感情を

私はあっさり認めた。

きつと

おとなになるって
そういうことだ。

むかしから

わたしは

はやくおとなになりたかった。

大人になったら

きつと

きつと。

「ん〜、じゃあ聞いてみるかな。」

あたしのかわりは
いっぱいいる。

「うん、原田さん、いいと思うな。」

気にすんな、あたし。

『残念』って言った時の、青いがかかりしたように見えた顔とか、
真の適任者を見つけてぱっと変わった赤い顔色とか。

この不可解さを。

「それじゃあさあ、佐井田さん、」

「ん？なに？」

「今」

好きな奴っている？？」

おはよーございます、
おはよー、

「、、、意外ね、あの二人、仲がいいのね。」

「誰と誰のこと？」

「高橋さんと佐井田さん。」

「、、、。。。」

「そういえば、佐井田さんと言えば、
ん？」

「佐井田さん、昨日九時ごろルメリにいとこ見たらしいのよ、山
口先生が。」

「、、、。。。」

「彼女んちここから二時間ぐらいかかるところに住んでるって聞く
じゃない？」

「だから心配して声かけようとしたらしんだけど、場所が場所で、声
かけられなかったらしいの。」

「場所が場所ってどこだと思っ？」

「、、、。。。」

「そういえば、日高さん、」
「うん？」

山口せんせといえば、、、もう一人の山口だけど（笑）。言われたんだ、お前ら理系文系で組んでるだろって、風紀検診。

、、、まあ多少はね。でも仕方ないじゃない。実際文系は女子が多くて、理系は男子が多い上、文系が私で、香谷君が理系なんだから。

だよ、でもさ、今日の奴交代するように、みたいなこと言われたんだよね。

うん、、、まあちょっと、、、でもそうね、

いいわよ。

『日記』いえ、『自分史』にとどめなきや……!、
201×年6月、

「で、どつなの?」

「へ?」

「すきなやついるの??」

そうだった、

えーと?

すきなやつ??

好きなやつ、か。

『か』?

! ! ! !

あたしいま、

ナニオモツタ??

「あつやつぱりいるんだ!」

「えええっ?!?!いやっ!いないしっ!?!いないしっつ!?!」
「いや、ぜつたい、!」

キーンコーンカー、

「やべっ」(高橋)

「やばいっ」(佐井田)

「遅刻つちコクーっ!?!?!」(高橋)

「遅刻じゃんっ!?!?!」(佐井田)

し、しぬ、。。

あのあと結局『遅刻』だし。

朝の30分課外の国語は、

「佐井田あゝ」 「高橋いゝ」 「佐井田あゝ」 「高橋いゝ」

エンドレス 「佐井田あゝ！」の順で当てられるし！！

えっ！！てかなに????なんであたしが先に当てられるわけ??しかもあたしのほうが一回答える回数多いし！！

たしかにあたしが若干教室着いたの遅かったし、てかそれは男子のほうが平均的に足が速いのであって同地点からスタートすれば必然的にそうなるでしょ!!まあ一回多いのはあたしがまったく答えられなかったせいでもあるんだろうけど、、てか、国語って得意じゃないのよ!、、、

ていうか!!!

とりあえず遅れたのは、

高橋君のせいなのっ!!

あとあとあと

塾の誰から聞かれたとか重要なところあたし聞いてないし!!!

聞きたい!!!

と思いつつ今さら感ありありだけど、、

いえ、あたしに好きなやつがいるとおもってるから高橋君後でまた絶対聞いてくるはず、

よね????

じゃないと

気になって眠れな――――――い!――!

ぐっぐるるうううううう。

まじおなかすいた、、

蒸しパン一個じゃ足りないわ。

かなちゃんが

「蒸しパン意外とカロリー高いのよっ
つて言つてたけど、

お腹にはたまないみたい、

朝食あんだだけたくさんあったのに、一個も手付けてないわ、

それにしてもすごいごちそうだったなあ~~~~

香谷くんあれいっただれだけかけてつくったんだろ、、

てか、

香谷くんさつきこつちまた』にらんで』らっしやいませんでしたっ
け????????????

ひっ!!!

家の、鍵は、かけたわ、

(ちよつと、もってていいのよね????ね?ね??)

ごはんも、、手つけてないわ、

(ヤマサキのチーズ蒸しパンを126円でゼブンで購入してたべた
だけ)

プリントは盗んだけど、(これ?これが原因?いや、あの置き
方はもってけどろぼーってやつでしょ、)

ぎゃっ!!!もしかして!!!

挨拶あいさつしてない!!!!!!!

水曜日 全校集会（前書き）

既にお読みいただいた方には大変失礼いたしました。差し替えさせていただいております。再度ご一読いただければ光栄です。今後とも気長に『佐井田さんと香谷くんの一週間』にお付き合いのほど、よろしくお願いいたします。（にー）

水曜日 全校集会

し、
しこそう。

どうして校長先生の話って長いわけ??

あの時計の分針が30度も傾いてるはずなのに、

まだけつろんをだせないわけ???

校長せんせいに

こんど私から

人間のしゅーちゅー力の限界は3ぶん弱ということを申し、

!

ひいいつつ!!

うっ、!!!!

くっ(はらのむし)。

、、、。

、、、、。

はあ、、

よかった、、

今の音はきこえてないはず、

(たぶん。)

どうしてその、
みなさん、

静かなわけ???

もっとさわいでっつ!! いつもみたいにつ!!!!

なんかのほんにかいてあつたけど
にんげんしゅうちゅうしてるときは
おなかもならないとい、、。

はっ!

そうよ!

イケメンの隼人くんを、、

つて

いな――――い！

なに？

今日おやすみ???

とりあえず、

はらねじつとけば

なんとかなる???

はああああ。

うう。

ほかに

なんにしゅーちゅー

しとけてんのよっ！

はっ！

おわった???

もしかして、

おわった?????

はああああ

たすかったあああ、、、。

『つぎは各委員会より今月の活動報告についての話をさせていただけます。文化委員会からお願いします。』

あっ、、、

原田さんだ

そいいや、原田さんって。『ねえ、あのふたり

つきあつてんだけ?』
『えっ???!』

ダ・レとだ・れ???’』

『、、、もう、

あんた声でかい!

、

原田さんと

6組の香谷くん。

聞かない?』

『まじでーっ???’シヨククーっ!』

『、、、だからでかいんだって、

でもお似合いでしょ、

あのふたり。』

。。。。。

『い・や・だ!あたし

香谷くんがいい!』

『あんた、、、

意味不だから、、、。

3組の沢原(隼人)もいっつってたじゃん。』

『とりあえず、王子たちはだれともつきあっちゃっためなのっ!

!』

。。。。。

『まや、

あなたね、

き・の・せ・い・よっ！！！！！！』

.....。

『みなさん、挨拶をしていただきたき大変嬉しく思っています。ただ、まだ若干ですがされていけない方がいらっしやるようです。』

あ、れ？

『ね！香谷くんにあいさつしないなんて！！』

あたし水曜日だ・け・はいつもより15分早く起床してにこやかに
清楚に挨拶してるのにつ！！！！！！』
『なるほど。』

あなたのおうじへの

【アイ】とやらは、

15分ばつきりなのね』 『なんですって???.?』

もしかして

『ね！あや、

やっぱりこっち見てるっ！ぜったい！』

『んゝゝゝ？、

そうかな？

寝違えたんじゃない？』

ま、

まだ

おこってる？

い、

んなわけ。

でも、

『あーごめんね。俺はねちっこくて。んな配慮もできなくて。』

いせいせいせ。

ほら、

ぶっちやぶっすらだし

まえにもあったじゃない。こんなこと。

『あの顔が常』

そうよ。

でも

でも

今はその答えを、

『、、、以上で美化委員より報告を終わります。』

わたしは。

『ありがとうございます。』

ノゾンデル？

『ねえ、今日の香谷くん、』

『なんか機嫌悪かった』

『ちがうわよ！』

『クールだね』

『って言いたかったのっ！』

『あんだ、、、』

『しかも若干死語を使うわよね、』

『きーーーーっ！！！』

だってなんかのほんにかいてあったわ、

《好きの反対は、

『あと、俺から一言、あつ！美化委員担当の2・6担任の山口です。』

嫌いじゃない》

『今日の2学年の風紀検査は
理系の先生方が文系クラスを、
文系の先生方が理系クラスを担当するんで！
よろしく！』

ならわたしは、、

いやいや。

恩義があるから、
顔がいいから、
頭がいいから、
人気があるから、
原田さんと付き合ってるから、

『理系は日高が、文系は香谷が担当するんでよろしく……!』

そう、

だから

無関心ではいられないのは当たり前よ。

水曜日午前部

2時間目 数学のテスト

んふふ。

今日は佐井田杏記念日。

初満点の日です。

いいのよ、偽りでも、んであっても！らっさい！！
今まで人生、まあ、まあまあともに生きてきたんだから。
いいのよ、いいの！

さてと答えも確認したし、5、2、7、28ね、

5、2、7、28、

こになんにつば。

五・二・七・二十八、

5、2、7、28！

ラジャー！

「おい、配るぞー、教科書直せー」

さあさあ隠れましょうねー模範解答君

え？

て、

キノウはゴメン???

ああ風呂掃除の後、

生物の宿題思い出して、カバンからプリント取り出した瞬間にぴし
っと指切っちゃったからねえ、、いいのいいの、同じ憎つき問題
プリントペーパーであつてもあんたが謝る必要ないし、うん、こん
なの膝小僧の傷に比べたら、

つて、

え？

ええっ???!

これは、、

か、

かたに君?????!

まさかあれ、

食べてよかったの——————っっ!?!?!

だってあたしの好きな、ケーキとスコーンとポトフと、

う。う。う。

て、!!

でなくって!?!?!?!
さいだあんっ!?!?!?!?!

香谷君、

香谷君、

あやまっていらっしやいません???

誤って？

いやいやいや、

謝って???

えっ、

まさか、

ガサツ、

() (んけって何の数字?んがー??いや、ジィろ?けってカキクケ
五っ???!)

「5点な。佐井田、」

うう、初満点が。

まじめに数式から勉強すればよかったあああ、。

「じゃ、再テストは昼休み。」

「へ?」

「昼休み、13:15から。しっかり勉強して来い。」

「いや、昼休みは。」

「飯は食えるだろ。はい、これ見て。頑張れ。」

むり――――っっ――！！！！

3時間目終了後、5分休み、

「杏、先行ってるよ、」

「ラジャ、」

6組の前を通る心配する必要なんて無かったんだわ。

いずれにせよ、この生物のプリント（提出期限火曜日）出し忘れたから、

回り道して職員室前を通っていかなきゃいけなかったのね。

うふ

おなかすいた〜。

ん。

さてよ、

あたし若干感じ悪いひとじゃない???

((佐井田さんの頭の中：図式))

人：重要度； やつちやったこと； 進行度

香谷：重！！； わたしの、ピ、！； 済。

同上； 軽？； 勝手に外出したことに對して怒る・半済？

同上； 中； 自転車壊； ノットイエット！

総累計の感じ悪さ (KW) ; 56 / 100

佐井田：軽！； 勝手に外出；、私の自由権だし、！

佐井田：中、じゅう？； ラスベリーバス使用；、買いますよ！

(あ、てことはっ？！！！佐井田：重！； ギヤツ！昨日の香谷家の水道費っ！！！！、えっ、？

いくらくらいなの??？、千円くらい??？も、しないはず、とい
いな、、、、。もうなま現金おいちゃおうかなあ、、、、 (泣)。

KW ; 37 もとい 47 / 100

+プラス

佐井田：ちゅう・香谷くん謝罪に對し今朝の挨拶を不注意のため

きなかつた態度；

（ので落ち度なし！、の予定、。、）

総KW；47プラス12イコール、

若干、最後の項目でやばー！っ！っ！っ！

でもどうする???

だって

香谷君、

いないし、

、

、

、

いる。

あっちの廊下から歩いてくる――――？？？？

カツカツカツ、
コツコツコツ、

なんでだあれもおってないの？？？

いま休みじかんよね。

ああ、いかんいかん、プリントがしわになっちゃうよ。
こっちにずらしてよ。

えーっと、

なんほすすんだ？

この廊下って、いがいと、長い、し

いがいとあかるい。

そりゃそうか、

しろのかべだし、

きょうしつ3個分のながさだし、

もうーコぶんはすすんでる、かな、ら

えーと、

、

カツカツカツ、、、
コツコツコツ、、、コツ。

と、

とま
つて、

「あ、

あ、
うん！！」

カツ。

あ、

いまとおりました。

、
、
、
、
。

コッ、

コツコツコツ、
、
、

音が、

遠くなる

コツコツ、
、
コツコツ、

あたしも、

、

あたしも、

、

あたしもあやま、

いや、

謝らなきや。

クルッ。

あ、

れ、、、

香谷くんも

こっちみてるーーーーー???

「っ」

香谷くんも

なにか

言おうとしてーーーーー、

バーーーーーッッッ!.....!

「香たににいいっつ!..!カモオンッッ!.....!ブツリっつっ!.....!
物理の回答っ!.....!

おしえてくれえーっつ!.....!..!」

バターーーーーッッッ!.....!

水曜日 立ちっぱなしの再テスト 体操座りの佐井田さん

13:17 職員室前廊下にて

「杏、また再テスト????」

「6組の人には関係ございません。」

「そんなことないですよ、毎回毎回毎回昼休みココ通るたびに
見かけるんだから。」

「(小さい声で)さなちゃんがいつも教えてくれないから。」

「あ、た、しはあなたのためを思って渡してないのっ!まともに勉強
強しなさい!!
てか

(小さい声で)あなた昨日ルメリに9時ごろ居たってほんと?」

「、へ?」

「ルメリでなにやってたの?文化祭の準備?」

「え、うん、。」

「やばい、忘れてた、、、あたし、早苗に文化祭の準備で忙しいから、
一緒に帰れませんかって嘘ついてた、
さなえ、ごめーんっ!!」

「文化祭の準備で珍しくあなたが躍起になってるの分かるけどさ。
いちおあなたのクラスも特クラ(特別クラス)だし、文化祭ばっか
にはまってるの丸見えだと、

進路指導担当のヤマせん（山口）もずけずけ言ってくると思つよ。」

「早めにヤマせんと言つといたほうがいいよ。

じゃないと、あんた徹底的にもう一方のヤマせん^に検査で調べられる。

んなに成績良くないんでしょ、物理は。」

「う、ういっす。まったく。」

たく、うちのせんこうたちは（ピー）ってるわよね、まったく、

自分の教科の成績の良い奴だけはいろんなことに甘いんだから。

「成績のいいやつを順に覚える努力じゃなく、いかに楽しく英語^{エイゴ}を教えるか、の努力をしるつつうの！安陪せんめ、またあたしの成績のことねっちなっち言つて、

つてー！！

ぎやっつー！！堀せんせー！！！！」

流石、あたしの友達だわ、

「三山、邪魔しないでくれるかな？」

「はいせんせ〜」

さよなら〜といいながらきえていった。

うん、流石あたしの友。

て、

いまのほーそー禁ようごだいじょうぶなの？さなえ。

てか

今の話しでいくと。

わたくし、

山先生、もしくは学校のだれかに昨日見られて……、

「佐井田！手が進んでないぞー。」

「！だいじょうぶですっ！掘せんせっ！」、
なにがだいじょうぶなんだあたし。

てかこのままじゃ

すうがくやばい、

自転車も取りにいけない、

放課後のロフトも危うい、

じゃなくて

なんかもやもやする、

はやく、

はやくごかいをときたいのに――――

「さいだあ、ご、かい」

はい???

「5の解、」

ご、

ごのかい?

「5の解、辺の長さ、

708?はないと思わんか?」

「、、、。」

「できなかつたら宿題追加だからな。」

「、、、。。。」

、。

、。

、。

だってなまじっかさっきのできごとだって

いままで話したことがある人の態度じゃないし

ほおが高揚して、

おめめがうるうるして、

まるでこつ初々しい女子学生が「っ、っ……!!」

ぎゃっあっ……!!

もうやめてええ……!!……!!……!!

てっ……!!か……!!

ふっ……!!……!!……!!う……!!……!!

てか

普通に話せばいいじゃないっ……!!、そうよ……!!皆からするとわたしたちはまったくの赤の他人、

いや、今もそれは変わらないし……!!

丁寧語で話せばいいだけだし、いや今までも丁寧語で話してたと思

うし、

~~~~ライト、オッケーよ!!!

、

、

あっーっ!!!

もう

なんとかしてーっーっ!!!

がやがやがや。

「あー。山口先生どうされました？今日は、えっ？あっ、はい、そうですね、そういうことなら、えっ、はあ、、、わかりました、

おーい、みんな、聞けー!!」

おなじ山口なのに、完璧に主導権握られてるわあ。  
てか、

まるきりこえにしてる点で

山口せんせのほうがうわて？

「今日は残り時間は文化祭準備の時間に当てたい!ということだ!」  
!!

は!

ということとは!

時間短縮。

つまり!

事前予告ありの本日の風紀検査はだいたい服装諸々正されてしまっ  
てるはずだから、  
やる意味がない!

よって、

お流れっ!っうことですね!山せんせ(たち)!!

「出席番号の素数そすうのやつだけ検査けんさすることにするっ!!!」

がくうっうっ!!!

って

そ、素数うっ?!!?!!?

て、

てか

それこそやる意味あんの??!

、、

若干みんな引いてるし、

、、

いや、

か、

数えてるし、、、、

、、、、、。

あたしは大丈夫だもんねー、

だって、

、、、 4あたりでわれ、

割れませんねえ、

7あたり

で

も、われませんねえ、、、。

、、

、  
てか、

17

つて

素数?!?!???

ギョー………っつ!……!

「いいなー杏、香谷くんとお話　!うちのクラスから女子二人だよ  
~~~~。20分の1の奇跡!」

よかねーっ!……!

しかも

んな奇跡!

いらねー!……!……!

「………っつ!………」

いつてらっさい、じゃないしっ！！！！！！！！

「はい、じゃあ2、3、5、7、11、13、17、19、23、29、31、37のやつは残れ。」

1組から順に検査するからな。理系は6組から。残りは解散。戻れ。」「、
って何？

あたしラスト（杏は4組）のほうじゃん！！

あーっ！！！！！！

、

あれ、

3組の原田さんも、、、、？

はらださん、

脚長い、色しろい、、、、

きれいなひと、だな。

あとあと、合同た、

「佐井田さん。」

「わっ!!」「た、!!!!」

「なに?その反応はひどくない?今日同じ遅刻した仲なのに。」
「!!!!!!!!!!」

た、

「た、高橋君!!」
び、びっくりした。

「あれ、てか、、、
あたしと、、高橋君だけ?」

「特クラだけ13、17番だけになったって。」

ま、じ、でっ?
じゃあ、

女子で の奇跡からクラスで の奇跡に格上げねっ

まあ

あたしってば、

ついでる————— (なにかが) (泣)

って!!

「特クラだけって、！」

「特クラに甘いよなー、せんせたち。いや4組には甘くないか、俺らは最後のほうだけど、6組は最初だし、」

いや、

指摘事項は甘いとか甘くないとかそこじゃ、

(いや、そこもか、) だとおもっただけどね、高橋君、、、、

「それとも遅刻したからかな？」

もっとも一番はそーだと思えます。

、

、

てか、

そんなことして、

うちらが生きづらくなることぐらいわかんないのかなせんせいたちは

「てかね、こんど朝言ってたやつとあってみるきない？」

「へっ？」

「やまぐちせんせ！」

「おまえ、呼んだらすぐ来い、
はやく戻りたくないのかつ」

「はいー、」

なんつーグッドタイミング、

、

、

てか、

てか、

てか！

わたしを、

わたしを

水曜日　く杏、風紀検査を受ける

「うちらが最後ってひどくないですか、やませんせー!」
「あたしらいつつもさいごやん、1組から5組だし。」

「おまえらが一番遅刻率が高いからだ!」

、
「なんでえー、なんでええー、なんでえー、、、んでー、、、ー、、、

なんでーっ、あたしいいつつ?!?!

てかこの中にいる(?!)(ってっ、と、はっ、、?!

さっきのむっさくるしいもんもと座ってる姿も見られたってこと
っっ??!!?!?!

のおおおおー!?!?!?!?!?!?!?!

もっ

優雅に、

お上品に、

気品ある、

体操座りをー、、、

じゃ、な、くっ！

なんか、

なんか、

なんか、

顔が上げられないわー！ー！ー！ー！っ！ー！ー！ー！ー！

てか

おしえてくれないなら、

どこをどうむけばいいのかわからないじゃない！ー！ー！

、、、、、、、、。

とりあえず、

家に帰って学年名簿を漁って
誰か検討つけないと、、！

、、、、。

てか

いますぐ知りたー！ー！ー！いつつ！！！！

いま！

すぐにつ！！！！

職員室に名簿があつたかしら？？？？

掃除時間に漁る？？？！！

いやでももしあたしの知らない人だったら、？？？

いやいや、あたしと話したことある人じゃないと、！

まさか、

まさかまさかまさか

あたしが一人惚れされるなんてことは、っ！！きゃー！！！！
！っつ！！！！！！

「佐井田さんー！どうぞー！！、っつて」

「、、、、、、、、。」

「って、、、、なんかだいじょうぶ？？？なんかさっきよりも丸まっ
てる気が、、、、」

マルマツテイル???

!!!!!!!!!!

たいへんーーーーん!!!!!!

座り直し!

座り直し!!

「、、、、佐井田さん、、、、えつーと、?、、早く行かないと、
?」

「、、そつか!」

「!、、さ、さ井田さん?」

『体操座り』という座り方は、

気品も何も

んなもんなかったわーーーーー!!!!!!!!!!

ちよつと足をそろえて横に流して、と、、、、

「、、、、。。佐井田さん、、ね?ほんと、はやくいかないと、
。結構あいつ待つのきら、」

(十数秒待っただけじゃん!!!、乙女は立ち上がるのにも時間がかかるのよ!!恋・さ・れ・て・い・る乙女は特に!!!ゆづがぐに立ち上がらなくちゃいけないんだからっつ!!!って、さっきどうやってあたし立ち上がったかしら???まさか』どおっこいしょ、』なんていってないわよね???いってないよね!!!?)

てか、

この人、

他人前ではこれ、、、?この態度、、、これを通してるとか、、、

にしてもこわすぎ。

風紀委員ってなめられるからかしら、、、??

にしてもやりすぎ。

にしても、ほんと

開かなすぎーっつ(鞆)(焦)!!!!!!

あ、

「(、、、、)

あんたがぶつ壊したくせに。」

「(言葉遣いが悪い、) 鞆の鍵の不具合のため、一点減点。」

「!!!!(あんたっ————っ!!!!)」

「不具合だから。(、その言葉、) 不具合、早く直すように。

(てか、そう、自転車だけど、放課後俺が見に行くから。、、、、昼
休み見に行こうとか考えてたけど、いけてないだろ、どうせ。)」

あっ!!—!—!—!—!—!—!—!

() ものすごいむかつくけれども。()

昼休みのすつがくのテストの、

「5点だろ。」

お礼を、、、、

って、

れ?????

「、へ?。」

「かえる!?!」

「(、、、、、自転車直ってるかわかんないし、泊まってけよ。)」

「、、、、。帰る!」

そっちの意味じゃなかったんだけど、、、、。(注:杏:クラ
スへ戻る(かえる))

「、、、あんなにひとりじゃ食えないし、。」

「、、、、、、。帰る!」

「、、、、、しょうがないな、。

せんせ!?!」

「!?!」

「佐井田さん、

、、、化粧品持ってます。」

「……!……!」

は、

はい~~~~~???!……!……!

「、、デイトールの口紅。」

あっ、

それ、

新色のやつー!

雑誌で見たー!……!……!

今度の誕生日に買ってもらうとおもって

て、！！

佐井田杏！！！！

あなた、

香谷くんに

は・め・ら・れ・て・るわよっっ！！！！！！！！！！

「佐井田。」

「！！！！、はい！！」

はい、

あたし、

こんなことでいいのかしら？

ガチャガチャガチャ、

でも

まだ自転車直ってないらしいし、

『泊まっていけ』って言ったのも、直ってないのが
なんとなく分かってたのかしら、、、？

てか

どんだけ壊われてんだあたしのチャリ。

、
、

いちお

考えてくれてんのよね？
彼は。

でも、

でも——

なにか噛み合わないような——？

「また、考えごとか？」

「へ？、」

「なんか、うっ、

いつも、

「ぼーっとしてるよな。」

「、、、、、、。」

「人のこと言えないんじゃない??」

「ケーキ、スクランブルエッグ、ポトフ、スコーン、ホットドッグ、フルーツ盛り合わせ、コーンスープ、コンソメスープ、シチュー、サラダ、バゲット、クリチー、、、、」

「明らかに作りすぎだし!!!二人じゃ食べきれない!!!」

「杏なら全部いけるだろ。」

「あつつ!!!!、っだっからっっっっ!!」

「この前学食で『カツカレー親子丼』食ってたじゃん。」

「つつ!!!!!!!!」

「あのとーきーは、朝ごはんたべてなかったしっ!!!たいくでめっ
ちやおなががすいててっ、!!!」

「じゃあ、な、くつつっ!!!!」

「じゃなく?？」

「じゃあなーくーてー……」

「て?？」

「あーっ!？」

なんで、

なんで、

いつの間に、……!!

『下の名前』(、)杏とかっ!!(よんぞんのよ……)

、、、、。

「てか、
、、

出かけてい？」「

「だめだ。

先生にばれてんだよ。

、、、
買い物なら行くなら、代わりに行くって。
、、、

てか

何しにいくんだよ？」「

こわいこわいこわい！！

「す、凄まないでよ！」

なんかこの人、
機嫌がわるいと、

怖いのよねー、、、。

「で、何しに行くんだ？？」

「えつーと、」

「話逸らすなよ。」

「！-！-」

あーんーたーはー！ー！すぐそーらーすーくせにー！ーっっ！

「はあ、

別に怒ってるわけじゃない、

っ、

心配なんだよ

「！！！！」

！！急に態度を軟化させないでよ、

ああ！！もっっ！！

「

べりー。

「ん？

べりー？

「、、

ラズベリーの、」

「ラズベリーじゃないぞ、俺の持ってた口紅、」

「口紅じゃなくてっつ、！」

「?」

「お風呂の、」

「ふる?」

「————、、、、。

家人の所有物を勝手に使い、かつそれを買に行かせるなんてどうかと思うけど、

実質の家人は香谷くんのおばあさん、なわけだし。

この際問題ないよね

うん、

仕方ないよね、

、、

ごめん。

「ラズベリーの入浴剤を買ってきて下さい。」

「、、

にゅーよくざい?なんでまた、」

「かってきてください。」

「……」

分かったよ。じゃあルメリ、

「ロフトで買ってきてください。」

「……」

ロフト??近所のスーパーで、

「ろふとでかってきてください。」「……」。

分かったよ、ちゃんと鍵しめとけよ。」

「……」

はい。」。

「じゃ、飯の前に行ってきます。」「行ってらっしゃい。」

「……」。

いってきます。」

ボタン。

……。

……。

「やっぱり普段使ってるやつと同じじゃ、」「ち、ちがいますっ!!」

「、、、

とりあえず、似てるから使ってみたら。はい。」

あたしはこんなごうきゅーひんは使わないっよ!!……!!

「あと、これ。」

「、、、え。

デイトールの口紅………っっっ!!……!!
わたしの来月の誕生日プレゼント………っ!!……!!

でもこれって、!

「母親のじゃないからな。」

じゃないのなら、、、

「別に他の女の子が使った後のとかでもない。」

「、、、じゃないのならっ!!」

「俺のじゃねーよっ!

、、、

父親の仕事の関係でもらったんだ。母さんは若すぎる色だっって使えないみたいだし、

、、、

「うん。」

この色好きなんだ――――

なんだっけ？

ちょっとオレンジがかったる――

この色は――――

、

何色だっけ？

「あつ――」

てか、

お金――！

お金払うよつ――！――！

ちよつ、香谷くん？！

か――た――に――く――ん――っ？――！――」

木曜日

7:35-----

『遅刻しないよう、俺が後でかぎ閉めてできます。7:40までには出るように。』

うんざーからー………(なんじゃこりやー)!!

言われなくても、準備できてるっつうの!!

バゲットもスコーンもコーンスープも食らってやったの!!

、、、、

てか

今日はあたしに鍵預けないってことは、

じてんしゃ

今日

しあがるの？

一時間目〜生物〜

「今日はこの前の宿題プリントの復習をする。お前らぜんぜん理解してない。」

げ、この前の遅れて出したプリント???

えっっ

て、

あたしの、

配られない？

「あつ、佐井田、

、

すまん、

お前の

職員室の棚に置いてきた。」

「、、、、

いえ、取ってきます。」

風

じゅーいっ

こんな晴天なんて久しぶり。

ほんとにつゆあけしたのかな？

このまま梅雨明けしたら

来週からは衣替えだな、、、

ん、

6組は、

体育？？

だれもない、

いや、

いる——、

あれは——？

机につぶして、

香谷くん？

まさか、

遅刻??

いや、

サボリ?!

ちょっと一言言っ
てやらないと、
、
!

カツカツ、

カツカツ、

カツッ

、
、
、
、
、
、
、
、
、
、

あれ？
香谷くんて

こんなちっさかったっけ？？

、
、
、
、
、
、
、
、
、
、

黒の学ランが、
重々しい。

その時の香谷くんにわたしは声をかけることが出来なかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6634m/>

佐井田さんと香谷くんの一週間

2011年11月7日12時04分発行